研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-136		21-078	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Alcohol drinking in one's thirties and forties is associated with body mass index in men, but not in women: A longitudinal analysis of the 1970 British Cohort Study

30～40 代の飲酒は、男性は肥満度との関連があるが、女性は関連がない：1970 年英国コホート研究の縦断的研究

執筆者

O'Donovan G, Inan-Eroglu E, Stamatakis E, Hamer M.

掲載誌

Prev Med. 2021 Dec;153:106811. doi: 10.1016/j.ypmed.2021.106811.

キーワード	PMID
飲酒、BMI、縦断的研究、肥満、過体重、体重増加	34560097

要　旨

目的：BMI は罹患率や死亡率と関連しており、様々な理由から飲酒が肥満に関連していると考えられているが、飲酒が独立して肥満と関連しているかは明らかではない。本研究の目的は、1970 年英国出生コホート研究の 4 回の調査において、飲酒と BMI の独立した関連性を調査することである。

方法：1970 年の英国出生コホート研究において、飲酒、BMI、喫煙習慣、職業、長年の病気、余暇の身体活動を 30 歳、34 歳、42 歳、46 歳時点において評価した。繰り返し調査され、相関のある観察結果の問題に対処するために、マルチレベル・モデルを使用した。

結果：男性においては 5,931 人、15,708 件、女性においては 5,656 人、14,077 件の観察結果があった。飲酒は男性では BMI と関連していた。BMI は、週に 1 回飲む男性では、1 年に 0.36（95%信頼区間：0.11-0.60）kg/m² 増加し、ほとんど毎日飲む男性では 1 年に 0.40（0.14-0.15）kg/m² 増加すると予想された。10 年後の BMI は、飲酒する男性で 5.4kg/m²、飲酒し余暇の身体活動がある男性で 2.9kg/m² 増加することが予測された。女性では飲酒は BMI と関連しなかった。むしろ、過去喫煙者では、BMI は 1 年当たり 0.25（0.07-0.43）kg/m² 増加すると予測された。10 年後の BMI は、過去喫煙者では 4.3 kg/m²、過去喫煙者で余暇の身体活動がある女性では 0.8 kg/m² 増加すると予測された。飲酒と BMI の関連は、問題のある飲酒と食事について調整した後も同様であった。

結論：繰り返し評価のある縦断的研究において、男性では飲酒が BMI と関連していたが、女性では関連を認めなかった。また男性においては飲酒者では、年々BMI が増加する傾向にあるが、余暇の身体活動があるものでは BMI の増加は抑えられた。女性は過去喫煙者で年々BMI が増加する傾向にあるが、余暇の身体活動があるものでは BMI の増加は抑えられた。